

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会

第13回理事会議事次第（案）

平成25年6月16日（日）13:00～14:00

場所：沖縄大学 2号館 306号室

1 議 事

（1）事務局からの報告（資料1）

①第12回理事会提案事項にかかる対応について

- ・平成25年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業について
審査員候補者の提案
応募用紙の作成について

②企画委員長の任命について

（2）第6回総会について（資料2）

①議事の確認

（3）その他

資料1：事務局からの報告

資料2：第6回総会について

別紙1～4：助成事業の申請様式

別紙5：助成事業の審査要領（案）

役員名簿

役職	名前	出欠	
会長	中野 義勝		
副会長	西平 守孝		
理事	泡瀬干潟を守る連絡会	桑江 直哉	
	エコガイドカフェ	猪澤也斗志	
	沖縄エコツーリズム推進協議会		
	沖縄県漁業協同組合連合会	賀数 基和	
	沖縄県自然保護課		
	沖縄県ダイビング安全対策協議会	案納昭則	
	梶原 健次		
	環境省那覇自然環境事務所	小口陽介	
	木村 匡		
	後藤 亜樹		
	コーラルクエスト	岡地 賢	
	桜井 国俊		
	沖縄リーフチェック研究会	安部 真理子	
	NPO 法人グローイングコーラル	上原 直	
	渡嘉敷ダイビング協会	平田 春吉	
	中谷 誠治		
	藤田 喜久		
	宮古島マリンリゾート協同組合		
	八重山サンゴ礁保全協議会	吉田 稔	
	WWF ジャパン	権田 雅之	
監査役	沖縄県衛生環境研究所	金城 孝一	
	上里 幸秀		

○：出席 ×：欠席

事務局からの報告

①第 12 回理事会提案事項にかかる対応について

平成 25 年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援助成事業について

・審査員候補者の提案

第 12 回理事会にて、アラムコ助成事業の審査員候補者については、事務局案により、候補者へ就任依頼し、同意が得られた候補者を理事会で承認するということになっております。現在、下記の審査員候補者へ就任依頼しているところです。第 13 回理事会開催時に審査会構成員について理事会で承認をもらう必要があります。

- ・小口陽介（環境省那覇自然環境事務所）
- ・富永千尋（沖縄県自然保護課）
- ・権田雅之（WWF ジャパン）
- ・案納昭則（沖縄県ダイビング安全対策協議会）
- ・後藤亜樹
- ・専門家（学術的な観点から審査可能な方へ依頼しています）

「審査会には専門家を入れたほうが良い」という、理事の意見から、専門家として学術的な観点から審査可能な方へ依頼している。

・応募用紙の作成について

昨年度のアラムコ助成事業では応募の様式がなかったことから、様式があった方がよいとの理事会の意見から別紙 1～3 のとおり、事務局で様式（案）を作成。ご覧になっていただき、意見等があれば反映させたい。

最終的な様式の決定は、審査会にて決定することになり、様式が決定次第募集を開始する。なお、公募は 6 月 20 日となっているため、早急に様式の決定を行いたい。

②企画委員長の任命について

不在となっていた企画委員長については、WWF ジャパンの権田雅之理事が委員長就任に関して承諾をいただいている。会長から任命する必要がある。

第 6 回総会について

①議事の確認

第 6 回総会の議事の確認と議長選出、議事録署名人の選出

第 6 回沖縄県サンゴ礁保全推進協議会総会

平成 24 年 6 月 16 日（日）14:00～15:30

場所：沖縄大学 2 号館 2-306 教室

議 事 次 第 （案）

司会

1. 開会挨拶（会長 中野）
2. 議長選出（司会 ）
3. 総会成立の確認（事務局より会員数、出席者、委任状等による成立要件の報告）（議長）
4. 議事録署名人選出（議長）
5. 議事（議長）
 - 第 1 号議案（平成 24 年度事業報告）（事務局）
 - 第 2 号議案（平成 24 年収支決算報告）（事務局）（監査報告 監査役）
 - 第 3 号議案（平成 25 年度事業計画(案)）（事務局）
 - 第 4 号議案（平成 25 年度収支予算(案)）（事務局）
 - 第 5 号議案（規約改正）（事務局）
 - 第 6 号議案（その他）
6. 閉会（司会）

その他

別紙 1

団体名		事業名	
<p>【事業目的】 事業の目的を記述（背景、必要性などをふまえて記述すること）</p>			
<p>【事業内容】</p> <p><事業の詳細> （いつ、どこで、何を、誰と、など事業の詳細を記述すること）</p> <p><事業のアピールポイント></p> <p><将来性></p> <p><事業効果について> （事業を実施することによる、効果などを記述）</p> <p><事業実施体制> （連携、または対象とする主体と申請者との体制）</p> <p><その他></p> <p>※灰色字は参考までに項目を記載しておりますが、事業内容の項目については任意で構いません。申請時には灰色字部分を消して記述してください。</p>			

※本様式は、参考までに示したものであり、自由に修正可。また、複数枚にまたがっても良い。

別紙2

事業名	
<p>【工程表】 事業の工程（スケジュール）を記述、図示などしてわかりやすいように整理すること</p>	
<p>【過去の実績】 同類の活動実績があれば記述 H〇〇. サンゴ礁保全のための海中ゴミ清掃 H〇〇～〇〇. サンゴ礁保全のための出張講座（〇回実施） など</p>	

※本様式は、参考までに示したものであり、自由に修正可。また、複数枚にまたがっても良い。

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁保全活動助成事業申請書

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会長 殿

平成 年 月 日

みだしのことについて、企画提案書を添えて、申請書を提出します。

住 所 :

団 体 名 :

代 表 者 名 :

電 話 番 号 :

E-メール :

印

助成事業名	平成23年度「サウジアラムコ サンゴ礁保全活動支援基金助成事業」	実施予定期間	
事業名		助成金申請額	
添付書類			
事業の概要			

事業経費(収入)	見積額(単位:円)	備 考
本助成事業からの助成金		
自己資金		
他の助成金		※確定状況を記入すること
その他		
事業全体の経費合計	0	

事業経費(支出)	見積額(単位:円)	備 考
合 計	0	

※区分の項目は適宜記載してください。

沖縄県サンゴ礁保全推進協議会 サンゴ礁保全活動助成事業の審査要領（案）

事業名：「平成 25 年度サウジアラムコ沖縄サンゴ礁保全活動支援基金助成事業」

1. 審査員について

- (1) 審査会の構成員は理事会で承認する。
- (2) 審査会の構成は、審査会長及び審査員とし、審査会長は理事の中から会長が任命する。
- (3) 審査は審査会長が進行し、審査員は個人的利害から離れ、中立公平に審査する。
- (4) 団体、個人に関わらず、審査員が関係する団体や個人から応募された申請に関しては、その審査員は評価に加わらない。

2. 審査における留意事項

- (1) 審査経過は公表しない。
- (2) 審査過程で起こる外部からの働きかけには、申請の取り下げを除き、対応しない。

3. 審査の手順

- (1) 審査の手順は以下の①～⑤の手順で行う。

- ①申し込み締切日までに申請のあった申請書について、事務局が必要項目などの内容の取りまとめを行い、審査会前に審査に必要な書類を審査員へ送付する。
- ②審査員は当該審査にかかる書類を熟読し、別途定める（4. 審査項目）審査項目について評価し、評価結果を審査会開催前に事務局に提出する。
- ③事務局は審査員全員の評価結果を合計し、点数の高い順に序列を付け、審査会にて提示する。
- ④審査会では、事前に評価した内容をもとに審査し採択について検討する。
- ⑤審査については以下のとおり行うこととする。
 - ア. 原則として採択は評価点数の高い順に序列に従って行う。
 - イ. 同点者が出た場合は、審議して序列を決める。
 - ウ. 上記のア、イの項目に限らず、特別に配慮することがあれば審議して序列変更の可否を決める。なお、特別に配慮することに相当するかどうかは審査会で審議して決める。
 - エ. 申請書の支出項目を精査し、適切でない支出項目が含まれる場合は、申請額を減額し、採択する。適切でない支出項目の判断については、募集要領に照らして審査会で審議決定する。
 - オ. 採択件数は助成予算総額と申請予算総額との関連で決める。

4. 審査項目

(1) 評価は設定した複数の評価項目について行う。

(2) 評価項目は次の通りとする。

- ①計画の妥当性
- ②事業の必要性
- ③事業の実現可能性
- ④事業の保全効果
- ⑤事業の安全性
- ⑥経費の妥当性
- ⑦事業の遵法性
- ⑧その他特記事項

(3) 審査員は各評価項目について5段階（優れたものから5，4，3，2，1）評価を行う。

5. 助成対象の決定について

(1) 審査会は、審査結果を理事会へ報告することとする。

(2) 理事会は、審査会からの審査結果を承認し、その結果を申請者に通知するものとする。